

8 古文1 和歌を読み味わう

組	
番号	
氏名	

1 次の和歌を読んで、問いに答えなさい。

天智天皇

A 秋の田のかりほの庵の^{いほ} 苫を^{とま}あらみわが衣手は露にぬれつつ

※ 苫：すげ、かやなどを編み、小屋などの雨露を防ぐもの。

山部赤人

B 田子の浦ゆうち出でて見れば真白にぞ富士の高嶺に雪は降りける

藤原敏行

C 秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる

光孝天皇

D 君がため春の野に出でて若菜つむわが衣手に雪は降りつつ

在原業平

E 世の中に絶えて桜のなかりせば春の心はのどけからまし

凡河内躬恒

F 心あてに折らばや折らむ初霜のおきまどはせる白菊の花

文屋朝康

G 白露に風の吹きしく秋の野はつらぬきとめぬ玉ぞ散りける

① 次のア～オの文は、A～Gのどの和歌について書かれたものですか。

それぞれ当てはまるものを選んで、記号で答えなさい。

- ア 白露がこぼれる秋の野の美しさ
- イ 晩秋の静けさ、農夫のつらさ
- ウ 早春のさわやかさと心づかい
- エ 霜と白菊、白の美しさ
- オ 富士山の崇高な美しさ

ア	
イ	
ウ	
エ	
オ	

② Aの和歌の「苦をあらみ」の意味として適切なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 苦が荒れているので
イ 苦を壊してしまったので
ウ 苦の編み方が粗いので
エ 苦がないので

③ Bの和歌で、作者がいる場所として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 田子の浦と富士の高嶺の中間の見晴らしのいい場所。
イ 田子の浦を見下ろす見晴らしのいい場所。
ウ 田子の浦を通って富士の高嶺が見える見晴らしのいい場所。
エ 田子の浦と富士の高嶺の両方が見えるが、雪で見通しの悪い場所。

④ AとGの和歌で、係り結びが使われている和歌をすべて答えなさい。